じゅんぷう広報誌（季刊）

えがお

第　10　号

発行元
（福）堀川健康会
介護老人保健施設
じゅんぷう広報委員会
平成20年6月1日創刊

春風駘蕩～風の便り～

昨夏の長梅雨が懐かしく思えるような、厳しい日照りが続いた酷暑も盛りを過ぎ、京都盆地の鍋底でも、ようやく粗熱が冷めてきたようです。皆様、如何お過ごしでしょうか。

今夏は、ロシアで熱波、中国で洪水、また南半球では大寒波と、地球を覆う極端な気候による被害が続出し、我が国においても熱中症の罹患者が過去最多を記録したようです。

思えば昭和の半ば頃までは、真夏の最高気温といっても「せいぜい33℃前後というところで、昨今の「37℃」などという体温を超えるような気温の経験は、過去の記憶にありません。ですから当時は専ら、夏休みに戸外で遊ぶ子供たちに対して、炎天下での「日射病」への注意を促していたものでした。ところが今や9月になっても、秋雨などで湿度の高い屋内においては、大人、特に高齢者の熱中症を心配しなくてはならなくなりました。

というわけで、皆様には今暫く、扇風機などの片づけを待って、細めな室温調節と水分摂取を心がけていただき、季節はずれの熱中症に罹られぬようご留意下さい。

職員紹介

今回は3階の看護師3名を紹介します。

小原真依さん（右）
「イメージは年齢かまわずしっかりと意見を言う・相談しやすい・頼りになる存在」

中西由美さん（中央）
「イメージはあっさりしていて冷静で落ち着いて物事を判断できる」

安堂瑞穂さん（左）
「イメージはふんわりしているようで、ズバッと意見を言う・癒し系」

このような3名で3階のご利用者様が安心して過ごして頂けるよう日々頑張っています。

褥瘡（じょくそう）予防委員会

こんにちは！じゅんぷう褥瘡予防委員会です！

「**褥瘡予防委員会って何？**」

ご利用者様の皮膚を様々なトラブルから守ることを考える委員会です。

「**皮膚のトラブル？**」

多くはお尻の皮膚が赤くなったり、ただれたり・・・床ずれの原因となるトラブルです。このようなトラブルからご利用者様の皮膚を守る為には、予防はもちろん早期発見↓みんなに発信↓対応↓評価・・・つまりスタッフの連携パワーが必要です。褥瘡予防委員会では、ご利用者様に携わるスタッフみんなが皮膚のトラブルについて理解し、ケアへ繋げ、連携パワーが発揮できるよう、学習会を開いたり、ご利用者様の不快感を体験してもらったりと様々な取り組みをしています。

これからも様々なトラブルと格闘し、みんなの連携パワーが更に向上するように努め、ご利用者様の皮膚のトラブルが減り、安楽に過ごして頂けるように褥瘡予防委員会を筆頭にスタッフみんなで頑張っていこうと思います。

委員会における職員研修の様子です。(写真上)
技術や知識向上のため日々研修にも力を入れております。

ご利用者様の作歌

夜の秋　　デイケア　ご利用者さま
ドガの踊り子
立ち上がる

波しぶき　　4階　ご利用者さま
海の香りが
喜んだ

客帰り　　3階　ご利用者さま
カモメも海も
遠くまで

秋祭りのお知らせ

今年は九月二六日の日曜日に「敬老祭」を開催します。職員の出し物あり、射的やヨーヨー釣りなどゲームあり、盆踊りありと盛りだくさんです。ご家族様、お孫様と是非楽しんで頂きたいと思っていますので、どうぞご参加下さいませ。

なお、当日は多くの来場者が予想されますので、公共交通機関でお越し下さいますようご協力お願いします。

詳しくは各フロアの職員までお気軽にお尋ね下さい。

相談室よりこんにちは

今回は、成年後見制度についてのお話です。

成年後見制度とは、認知症や疾患等により判断能力が不十分になっても安心して生活できるよう、法律的に保護し、支える為の制度です。

例えば、福祉サービスの利用契約、預金や保険の契約や解約、遺産相続、不動産を含む物の売買等、生活に必要な法律行為を行う必要があっても、判断が十分にできない場合は法律行為自体が困難である可能性もありますし、行えたとしてもその人にとって不利益となることも考えられます。こういった判断能力が不十分な方の為に家庭裁判所が援助者を選任し、その援助者が必要な法律行為を支援したり、必要な場合は代理として行います。

成年後見制度は「法定後見制度」「任意後見制度」の2つに大別されます。法定後見制度は、判断能力に応じて更に「補助」「保佐」「後見」の3種があります。任意後見制度は、現在は判断能力が十分にある人が、後に判断能力が不十分となった場合に備えて支援等を委託しておく制度です。

成年後見制度の相談窓口としては、司法書士会による「成年後見センター・リーガルサポート京都支部」、各区役所（福祉事務所）、社会福祉協議会や社会福祉士会等があります。一部の資料はじゅんぷうの相談室にもございますので、お気軽にお声かけ下さい。